

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市保育園等運営審議会（平成28年度第1回会議）
開 催 日 時	平成28年4月25日（月）午後2時から午後3時45分
開 催 場 所	市役所高層棟5階 501会議室
出 席 者 の 氏 名	山中 利美、福田 春美、野嶋 栄一郎、菊池 義信 小林 伸子、原 勉、梅沢 好文、藺田 公斗
欠 席 者 の 氏 名	渡邊 美恵子、川口 一弘
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 諮問事項について (2) 報告事項について (3) その他
会 議 資 料	・資料4-1, 4-2、4-3 ・資料5-1、5-2、5-3、5-4、5-5 ・資料6-1、6-2 ・資料7 ・資料8 ・資料9
担 当 部 課 名	こども未来部長 本田 静香 こども未来部次長 及川 利美 保育幼稚園課 課 長 町田 真治 主 幹 野上 進 副主幹 新井 恵美子、小山 貴之 主 査 正月 誠、松崎 清吾 こども未来部保育幼稚園課 電話：04（2998）9126

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>（傍聴希望者の入場）</p> <p>（ 1 ）諮問事項について</p> <p>会長 準備した参考資料に基づき議論したいところですが、前回の会議からかなり時間が経過していますので、まずは、前回の会議の論点を整理した上で、審議を行いたいと思います。</p> <p>では、まず初めに事務局から前回の会議における論点並びに参考資料の説明をお願いします。</p> <p>事務局 それでは、事務局から前回の会議における論点並びに参考資料の説明をさせていただきます。</p> <p>前回の会議で委員の皆さまから頂いた様々なご意見を整理し、大まかに 4 つの論点にまとめ、本日の資料をご用意しました。では、資料をご覧いただきながら説明したいと思います。</p> <p>幼稚園の利用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の入園児童数の推移（資料 4 - 1） ・ 幼稚園預かり保育事業等利用実績（資料 4 - 2） ・ 私立幼稚園預かり保育事業費補助金の見直し（4 - 3） <p>育児休業取得に伴う退園について（資料 5 - 1 ~ 5 - 5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児休業取得に伴う退園児童数の状況（資料 5 - 1） ・ 育児休業取得の伴う退園者へのサポート実績 （あそぼう会実績）（資料 5 - 2） ・ 育児休業中の子育て実態調査（資料 5 - 3） ・ 平成 27 年度途中入園者数（資料 5 - 4） ・ 入園児童数の推移（資料 5 - 5）

	<p>保育士不足について（資料 6 - 1 ~ 6 - 2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢市による保育士等合同説明会の実績報告（資料 6 - 1） ・保育士等の処遇改善に係る補助金（資料 6 - 2） <p>待機児童について（資料 7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢市保育園施設整備及び待機児童の状況（資料 6 - 7）
会長	<p>ただ今、事務局から前回の会議での論点と資料について説明がりましたが、ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。できれば、保育現場の意見として、保育施設に従事されている委員のご意見を頂ければと思います。</p>
委員	<p>育児休業取得に伴う退園についてですが、対象児童の保護者が保育の継続を申請した場合、継続の可否についての時間がかかっているような印象があります。結果として継続が不可になった場合、すぐに翌月から新たな児童を入園することが時間的に間に合わないケースがあり、また、継続不可の決定後、次の園児の入園が決まった後で、新規入園の保護者の事情により入園を辞退したケースもありました。いずれにしても、翌月に次の園児が決まらず空きが生じてしまい、保育園側としては運営状況に影響を及ぼしかねないと感じました。</p>
会長	<p>この意見に対して、事務局側ではどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>市といたしましては、今までも出来る限りスムーズにいくよう各保育施設と調整してきたところですが、ただ今の意見を踏まえまして、今後も出来る限り早めに保育施設と調整を行っていきたいと考えております。</p>
会長	<p>では、他の委員さんはいかがですか。</p>
委員	<p>先ほどの委員の意見については、私が運営している施設でも同様の事例がありました。その時はこちらも気になっていたもので、早めに市と連絡を取り情報を共有することによって、結果的には問題なく対応できました。施設によって結果が異なることがないよう、保育幼稚園課には早めに施設と連絡を取るなどの対応をお願いしたいと思います。</p>

会長	では、保護者側からの意見としてはいかがですか。
委員	育児休業取得に伴う退園についてですが、私も上の子どもが保育園に通っていた時に、下の子を出産しましたが、その時はこの制度が始まる前のことでしたので、上の子は退園せずに済みました。やはり子どもも3歳以上になると集団生活の必要性も出てくるのではないかと感じております。
事務局	所沢市における育児休業取得に伴う退園については、基本的には0歳から2歳までの児童が対象であり、3歳以上の児童については継続ができるようになっております。
会長	幼稚園側の意見は何かありますか。
委員	幼稚園での預かり保育についてですが、先ほどの説明にもあったようにかなり充実してきており、それに伴って利用者も増えています。利用者の中には2号認定になるような方もいるのではないかと思います。そういった方の受皿にもなっているかと思えます。一方で幼稚園側においては、職員の確保が難しくなっています。先ほどの説明で、市は1月に合同説明会を開催したとのことですが、県の幼稚園協会では9月に説明会を開催しており、就職活動は10月から本格的になってくることを鑑みると、今後も市がこのような説明会を開催するのであれば、なるべく早い時期に開催したほうがよいと思います。また、臨時的に職員を確保しなければならない場合、その費用についての補助があればよいと考えております。
委員	幼稚園の入園児童数は年々減少していますが、子ども・子育て会議で使用しているデータでは、幼稚園に関する確保の量は変わらないとなっており、実態と乖離していると思われれます。今後の需要について、一般的には、保育園は微減、幼稚園は激減と言われており、このままの状態推移すると、どの幼稚園もいつ施設型給付に移行するのが懸念事項となっています。人材の確保については、かなり厳しい状況であり、その中でも特に所沢市や川越市は深刻であると思われれます。その理由としては、例えば所沢市は東京都と隣接し、都内まで電車一本で行ける状況ではありますが、賃金等の処遇面においては、東京都で独自に都内の市区町村に補助金を支払っている関係で、所沢市は東京都よりかなり劣っていると思われれます。

事務局	<p>子ども・子育て会議で使用するデータについて申し上げますと、このデータはあくまでも人口推計に基づく認定区分ごとの必要量の見込に対して確保の内容を示したもので、計画では今後の幼稚園利用者の見込は減少傾向となっております。</p> <p>また、保育士等の人材不足については、全国的に問題になっていますが、国では保育士資格や職員配置の緩和等の対策が行われるようであり、今後の国や県の動向について注視していく必要があると思われま</p>
会長	<p>他に意見はありますか。</p>
委員	<p>国では保育園における職員配置基準の緩和を進めていますが、これについては不安を感じます。私が運営している保育施設では、時間帯によっては現在の国基準以上の職員配置を行っており、保育士不足を理由に安易に配置基準を緩めるのはいかなるものかと感じています。</p> <p>また、保育士としての資格があっても資質面で問題がある場合があり、逆に、保育士資格がなくても保育の資質を十分に有している方もいるので、保育士資格がある人を配置すればよいとは一概に言えないと思います。</p>
委員	<p>資質面での不安については、保育士だけに限ったものではなく、小学校の先生にも同様のことが言えると聞いております。</p> <p>待機児童問題について、実際にあったケースですが、ひとり親世帯で2人の子どもを育てている母親が下の子を保育園に預けるために、かなり苦勞を要したと聞いており、また入園に至る経緯の中では、市の子育て支援の担当職員にも相談に乗っていただいたと聞いています。待機児童の中にも様々な状況があるので、そのような個別事情も考慮しなければいけないと思います。</p>
会長	<p>今の意見に対して、事務局からは何かありますか。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援新制度移行後、所沢市では保育園の利用相談を含め、子育て支援全般に関するサポート事業、いわゆるコンシェルジュを開始しており、また、来年1月には、こどもと福祉の未来館がオープンし、子育て支援や発達支援を積極的に行っていく予定です。</p>

会長	他に意見はありますか。
委員	<p>私は保育園、幼稚園、小学校の先生の育成に関わっていますが、最近感じているのは、自立と自律ができていない大人が増えており、このことが先生の資質に関する問題の要因になっているのではないかと思います。</p> <p>今までの事務局の説明や、委員の皆様の意見を聞いた感想を述べさせていただくと、まず1つ目としては、市はいわゆる量的な部分については制度改正などにより、保護者のニーズにかなり答えつつあるのではないかと思います。一方で、制度が変わったとしても、それに関わる人が変わらないと期待する結果にはならないと思います。結局は「人」の問題なのではないかと感じております。</p> <p>2つ目は保護者の自覚、親としての役割が問題になっていると思います。そして3つ目は、行政側が主体となって行う支援、これは質的な問題になるかと思っています。</p> <p>これらのことについて、もう少し議論を深めていくのがよいかと思っています。</p>
会長	<p>資料7に関する事務局の説明内容についてお聞きします。資料7では保育園整備による定員数の増加を説明していたと思いますが、その説明の中で、所沢市は県内でも2、3番という事を言われていたと思いますが、そのことについてもう少し詳しく説明していただきたい。</p>
事務局	<p>保育園では、朝8時から夕方6時頃までの通常保育以外に、延長保育や、全ての保育園ではありませんが、休日保育、一時預かり保育、病児病後児保育、地域子育て支援拠点などを実施しています。</p> <p>このような事業は単に保育園施設を増やすことだけではなく、いわゆるソフト面の充実を図るものであり、このことに関しては、所沢市は県内でもトップクラスであることをお伝えさせていただきました。</p>
会長	<p>今の説明ですと、市としては、対応できる施策は可能な限り実施しており、県内でも高いレベルにあるという説明かと思いますが、今回、委員のみなさんが問題としているのは、このような市の施策ではこぼれ落ちてしまうような問題であり、その問題について、この会議では問題の提起だけでなくどのような対応ができるのかを議論できればいいと思っています。皆さま何か意見はありますか。</p>

<p>委員</p>	<p>本日の資料を解釈すると、所沢市の保育における待機児童は解消されつつあり、今後は量より質の面での充実が重要視されてくると思います。この状況は幼稚園での状況と似ており、今、ほとんどの幼稚園では2歳児保育や子育て支援、預かり保育を実施しています。また、全国の7割の幼稚園では0歳や1歳の保育を実施しているとのデータもあります。幼稚園業界は基本的に自由競争ですが、今後は保育園業界においても同様なことになるのではないかと思います。</p> <p>そういったことから、所沢市は待機児童対策のことを考えるだけでなく、今後、保育園児が少なくなっていくことも想定した施策も考えていかなければならないと思います。</p> <p>例えば、所沢市の民間幼稚園が全て施設型給付に移行した場合、市の負担はどれくらい増えるのか、こういったことはとても重要な問題であり、本来であれば市の子ども・子育て会議の場で議論すべき内容なのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>平成28年4月時点の待機児童数は出ているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現時点では、まだ正確な数値は出ておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>いずれにしても、量的な部分での問題は解消されていくのかと思いますが、そうすると今後問題になってくるのは、働く保育士の確保と、その保育士の資質かと思います。</p> <p>先ほど他の委員からも発言がありましたが、所沢市は東京都と接しているものの、幼稚園教諭での給与格差は2万円以上あると言われていました。これでは、良い人材はみな東京に流れてしまいます。</p> <p>ここで1つ事務局に提案があります。市が主催した合同説明会の際に、40才以上で保育士資格や幼稚園教諭資格を持っている方への求人を積極的に行っていただきたいと思います。自分の子どもの子育てがひと段落して時間的に余裕が出てきた40才台の人材の掘り起こしを図ることは、とても有効だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの話で、所沢市での待機児童はほぼ解消されつつあるとのことですが、実際に相談を受けた事例を申し上げます。障害を持ったお子さんを持つ母親が仕事に復帰したいので、子どもを保育園に預けたいが、受入れる空きがないのと、そもそも障害があることで保育園に預けるのが難しいという内容でした。保育園側としては</p>

	<p>何とかしてあげたいが、どうすることもできませんでした。待機児童が解消すればそれでよいということではなく、このような事例もあるので、数には見えない個々の事情についてもきめ細やかに対応することも重要であると考えます。</p> <p>また、将来を担う子どもたちをすこやかに成長させるためには、やはり保育士の資質が重要であり、そのために、行政側では保育士の賃金水準を上げるなどの努力をしているかと思いますが、まだまだ足りていないと感じております。保育する側で、ある程度のゆとりがなければ、新たな人材の育成も望めません。人を育てるような職場環境作りがとても重要なのだと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>小中学校では、教員になる前の学生を、実際の学校現場で学ばせるようなことを行っており、保育園においてもそのようなことを行うことは有効なのかと思います。</p> <p>また、保育園の入園に際しての特殊な事例については、行政側でもきちんと把握すべきだと思います。そうすることによって、特殊な事例にどのように対処するかが分かってくるかと思いますが、今後、システムとして対応することに繋がるのかもしれませんが。</p> <p>所沢市においては、待機児童は解消されつつあることから、量的な部分でいえば対処できたのかと思います。では、これで満足ということではなく、この次はどうするのかということが今後の課題になるのかと思います。このことについては、また次回、議論していければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今までの議論に対して、事務局から少し述べさせていただきますと、まず、近年の傾向としては、医療的なケアを必要とする児童や、そこまでではないが発達が緩やかな児童、それからひとり親家庭の支援、いわゆる処遇困難ケースなどが増加しております。</p> <p>また、保育園現場からは、低年齢児の保育の難しさについて色々話を聞いており、そのような中で、国による配置基準の緩和措置に対しては、本当に大丈夫なのかという不安を感じているところです。</p> <p>先ほど委員の皆様からお話しがあった特殊な事例について、市としてきちんと対応するためには、やはり公立保育園の役割というのが大きいのではないかと感じているところです。民間保育園では対応が難しいケースに対し、公立保育園が柔軟に受け入れの対応を行う必要があるのではないかと考えております。</p>

<p>会長</p>	<p>公立保育園を公的機関として捉えるならば、先ほどの困難ケースに対して、より柔軟な対応が求められるのではないのでしょうか。今後も検討、議論の余地があるのかと思います。</p> <p>他に、ご意見はありますか。意見がないようであれば、これまでいただいた意見については、事務局で整理していただいた上で、次回の審議内容に反映していただくということによろしいですか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局もよろしいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>承知しました。</p>
<p>会長</p>	<p>では、本日の議題(1)諮問事項については、委員の皆様から色々なご意見をいただき、闊達な議論ができましたので、本日はここまでにさせていただきます、次に議題(2)報告事項に移らせていただきます。</p> <p>議題(2)報告事項について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>報告事項でございますが、2点ほど、ご報告させていただきます。先ず1点目は、「資料8」をご覧ください。「多子世帯保育料軽減事業について」です。</p> <p>では、資料8について、担当より説明いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、資料8の報告事項について説明いたします。</p>
<p></p>	<p>【資料8に基づき説明】</p>
<p>事務局</p>	<p>担当からの説明に補足させていただきます。</p> <p>ただ今の説明は、国の多子世帯やひとり親世帯における保育料の軽減策に対し、市としてどのようにして保育料の算定に反映させ対応するのかについて報告させていただきました。</p> <p>当市では平成26年度の保育園等運営審議会答申において、「年少扶養控除の再計算」については、国の制度改正や社会情勢の動向を見ながら見直しを行う旨のご意見をいただいているところです。</p> <p>従いまして、本来、今回、国が示した改正にあわせ、「年少扶養控除の再計算」の見直しや「保育料の徴収基準表」の見直しを図る</p>

	<p>べきところですが。</p> <p>しかしながら、国の改正は本年度になってから示されたこともあり、運営審議会への諮問答申や議会对応など、必要な手続きが行えない状況にあります。</p> <p>このことから、今年度は、このまま基準表は変更せず、軽減対象者へは還付等により対応していく予定です。</p> <p>なお、「年少扶養控除の再計算」の導入につきましては、県や国の多子軽減策に先んじて所沢市が実施したもので、今回、国の軽減策が実施されることとなったことから、重複した軽減策を講じていることとなります。</p> <p>平成26年度の答申、さらには、こうした状況も踏まえ、「年少扶養控除の再計算」の廃止も含めた見直しについて、次年度以降の実施に向け、審議会においてご意見を伺い、遺漏なきよう事務を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>次に、「資料9」についてご報告させていただきますので、資料をご覧ください。</p> <p>「所沢市立保育園給食調理業務委託について」です。</p> <p>【資料9に基づき説明】</p> <p>以上、資料8、資料9についてご報告させていただきました。</p>
会長	<p>ただ今、事務局から報告事項についての説明がありましたが、こちらについてご意見、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>私の子どもは、以前、公立保育園に通っており、その際、子どもたちも一緒になって調理作業する機会があり、とても良かった印象があるのですが、今回の委託によってそのようなことは無くなってしまうのでしょうか。</p>
事務局	<p>いわゆるクッキング保育についてですが、給食調理業務が委託になっても、今までと全く変わらずに行っていきますので、ご安心いただければと思います。</p>
委員	<p>それから、食材についてはどうなるのでしょうか。委託化によって食材も安価なものになり、結果として質が落ちてしまうのではないかと心配です。</p>

事務局	<p>保護者説明会でも、そのようなご質問もありましたが、委託する部分はいくまでも調理業務であり、献立表の作成や食材料の調達については、これまでどおり市の栄養士によって行いますのでご安心ください。</p>
委員	<p>よく分かりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>他に、質問等がありますか。 ご質問やご意見がないようでしたら、議題（２）「報告事項」については、以上とし、次に、議題（３）「その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回の会議の日程についてご報告等をさせていただきたいと思っております。次回の会議を６月１０日（金）午後２時から、の開催をお願いしたいと考えております。 また、次回の会議では、今まで委員の皆様から頂いた意見を整理して、答申に向けてまとめていければと考えております。 なお、当然のことですが、できるだけ早い時期に、皆様へ開催通知、資料をお送りさせていただきたいと考えております。</p>
会長	<p>ただ今、事務局からも説明がありましたが、次回の会議では、今までの意見等を整理し、答申案になるような資料を予め事務局には準備していただければと思います。 それでは、本日の審議会につきましては、これで終了させていただきます。 また、皆様におかれましては、長時間にわたるご審議をいただき、ありがとうございました。 本日は、ありがとうございました。</p>